

積み上げてきたふるさと教育「雄島学」の学びをもとに、「雄島地区のために今、私たちにできること」をテーマに、地域の課題を見だし解決に向け、6年生が躍動！

①雄島地区をきれいにする

- ・ビーチ・公衆トイレ清掃
- ・美化啓発ポスター・ごみ箱設置
- ・市へ提案書提出



②雄島地区を盛り上げる

- ・みこし製作・イベント参加
- ・模擬店出店



③地域の宝「天池」を守る

- ・生き物調査
- ・ザリガニとり・釣りイベント企画
- ・水草の移植



令和7年度「ふるさとの学び特別賞」応募票

学校名 坂井立雄島小学校

1. テーマとアピールポイント

テーマ 「雄島地区のために今、私たちにできること」

アピールポイント 雄島を学び、雄島で学び、雄島から発信！

- ・ふるさと教育「雄島学」を、子ども主体の探究的な学びへ
- ・地域の課題を自ら発見し、仲間とともに解決に挑む
- ・地元団体・専門機関との協働を深め、学びの成果を地域から全国へ発信

2. 活動内容

(1) 対象学年 6年生 38名

(2) 取組内容

<前年度までの取組>

本校では、従来から「雄島学」と題して、系統的なふるさと教育を実施している。児童は地域の方とのふれあいや体験を通して、地域の魅力を味わい、地域とともにある学校の姿を体現してきた。昨年度は、6年生が学びの集大成として地域のPRのCMを作成し、「ふるさと福井CMコンテスト」で奨励賞を受賞した。

- 【主な取組】・全学年…雄島地区ウォークラリー（協力：雄島地区まちづくり協議会）
- ・2年生…まち探検（協力：雄島地区まちづくり協議会）
 - ・3年生…地元名産「わかめ干し」体験（協力：雄島漁業協同組合）
 - ・4年生…磯の生き物観察（協力：崎生態保全グループ、越前松島水族館）
 - ・5年生…^{あまけ}天池の自然観察会（協力：天池を守る会、県自然保護センター）
 - ・6年生…東尋坊や雄島の地層見学（協力：一般社団法人Compath）
 - ・5、6年…サーフィン体験（協力：雄島地区まちづくり協議会）

<今年度の取組>

今年度は、従来の「雄島学」に探究的な学びの視点を取り入れ、児童が地域の一員としての自覚を高め、主体的に地域に関わる学びへと質的な転換を図った。6年生は「雄島地区のために今、私たちにできること」をテーマに、地域を見つめ直し3つの課題を設定。課題1、課題2は、学年全体で「総合的な学習の時間」において、課題3はクラブ活動で取り組んでいる。

【学年全体での取組】

★課題1:三国サンセットビーチのごみ問題 → 「雄島地区をきれいにする活動」

①海岸美化グループ…三国サンセットビーチのごみを減らすため、ごみ箱設置を検討したが、管理者への聞き取りで、「観光客にはごみは持ち帰ってもらいたい」ことから、ごみ箱は設置していないことを知った。そこで方針を変え、ごみ持ち帰り啓発ポスターを制作し7月に浜茶屋へ掲示を依頼した。さらに、実際に9月にビーチ清掃を行い、ごみ袋10袋分を回収した。清掃体験を通して美化意識を高めた児童は、12月にも海岸付近の温泉施設や複数の店舗に啓発ポスターの掲示を依頼していく。また、本校創立150周年記念イベントに向け、福井の名物を取り入れたオリジナルキャラクターを描いた大型ゴミ箱を5つ製作し、会場に設置した。合わせてごみ箱スタンプラリーを行い、地域の方々に楽しんでもらう工夫を凝らし、美化啓発活動を行うことができた。

②公衆トイレ美化グループ…市観光交流課への聞き取りで、公衆トイレの清掃は業者委託であることを学んだ。実際に清掃を行い、虫や砂の入り込みの多さに気づき、清掃が大変であることを体験した。体験をもとに、市観光交流課に提案書（網戸設置など）を提出できた。

★課題2:地域の人口減少 → 「雄島地区を盛り上げる活動」

人口減で地域が寂しくなってきたことから、大人も子供も楽しめる活動をしたと考えた。創立 150 周年記念事業で各地区のみこしの集合やキッチンカー出店などが計画されていることを知った児童は、自分たちも地域の一員として盛り上げたいと考え、次の活動を行った。

- ①みこしグループ…デザインから、竹の調達、製作までを自分たちで行い、「雄島小 6 年生」として、みこしイベントに参加。地域の人々とともに祭りを盛り上げることができた。
- ②模擬店グループ…大人も子どもも楽しめるお菓子を、150 周年オリジナルロゴ入りカップに詰め合わせて販売し、地域住民と交流を深めることができた。

これらの探究の学びの成果は、「創立 150 周年記念式典」（11 月 16 日）で地域の方々に発表した。さらに、県の海岸沿いの南に位置するおおい町立大島小学校と、オンラインで地域課題や探究活動を発表し合う（11 月 27 日と 1 月下旬）。両校とも海に面した地域であることから、浜辺のごみ問題など共通する課題も多く、互いの学びを高め合う機会にしていく。

積み上げてきた「雄島学」の学びをもとに、地域の課題を見だし、児童自ら次々と社会と関わり、アイデアを出し、頭と体に汗を流し、課題解決に向けて活動を広げている。

【クラブ活動での取組】

★課題3:「天池」の生態系の変化 → 「天池」の自然環境の調査と保全

校区内の「天池」は、日本固有の水生生物が生息する豊かな池であったが、近年は特定外来生物アメリカザリガニの食害により、多様な生物が見られなくなった。「天池」は、地域の人に大切にされてきた池であり、地域の宝である。クラブ員 8 名は、クラブ名を「天池クラブ」と名付け、県自然保護センターや地元の「天池を守る会」の協力を得ながら、天池や他の池の生き物の比較調査、水生昆虫やザリガニの生態などを学びながら、自分たちができる保全活動を一つ一つ考え実践している。

- [主な取組]・自作トラップによるアメリカザリガニ捕獲作戦（餌の違いによる比較調査等）
- ・アメリカザリガニ捕獲イベントを企画、全校児童に呼びかけ
 - ・水草の移植

活動の成果は、中谷財団主催の「成果発表会（東京）」（12 月 21 日）で、代表児童が発表する予定である。児童は科学的な視点で地域の自然を見つめ、地域の宝を守る一員としての自覚を持ち、外部に発信する機会を活かしながら、成長している。

3. 年間活動実績

月	学年全体（主な活動）	クラブ（主な活動）
4		県自然保護センター研究員講話
5	「雄島学」での学びをもとに課題発掘	天池での生き物調査
6	市観光交流課へ質問 美化啓発ポスター制作 等	天池と海浜公園の池の生き物調査 自作トラップ仕掛け①
7	中間発表会、浜茶屋へ美化啓発ポスター 掲示依頼 等	松島水族館で水生昆虫の飼育環境見学 中谷財団ホームページでの活動報告①
9	サンセットビーチ、公衆トイレ清掃 みこし・ゴミ箱製作、模擬店準備 等	イベント企画、全校児童に呼びかけ
10	市観光交流課への提案書提出 等	イベント運営、水草移植、自作トラップ仕掛け② 中谷財団ホームページでの活動報告②
11	150 周年記念事業での成果発表会 おおい町立大島小学校と交流①	150 周年記念事業で成果発表ポスター掲示
12	海岸付近の温泉施設や店舗へ美化啓発 ポスター掲示依頼	中谷財団主催 科学教育振興助成金校成果発表会（東京）
1~2	おおい町立大島小学校と交流② 振り返り	自作ワナ仕掛け③ 振り返り